

Formula Blue

YAMAHA SL KARTING

全日本カート選手権 FS125 部門西地域第 1 戦琵琶湖大会
 ■開催日：3月31日～4月1日
 ■天候：晴れ ■参加台数：20台

清水英志郎、初戦を独走優勝で飾る!! 居附明利も決勝で追い上げを見せ 10位フィニッシュ!

全日本カート選手権 FS125 部門西地域第 1 戦琵琶湖大会が、3月31日～4月1日の2日間、滋賀県・琵琶湖スポーツランドで開催された。今季からスタートしたヤマハの新しいスカラシップ、Formula Blue に選出された清水英志郎、居附明利の二人のドライバーも、新たな体制のもと、シリーズ制覇へ向け始動した。

Time Trial/Qualifying Heat

日曜日の琵琶湖スポーツランドは、初夏を思わせる陽気となった。朝の公式練習では、最後の最後に清水英志郎がタイムを上げ、リーダーボードに登場する。その勢いそのまま迎えた7分間計測のタイムトライアルでも、清水、居附の両ドライバーは積極的に周回を重ね、タイムアタックを行う。このタイムトライアルも最後に清水が41.048のトップタイムをマークし、予選ヒートのポールポジションを獲得する。一方の居附は、エンジン調整の経験不足により、タイムを伸ばすことができないものの、清水から約0.5秒遅れのタイムで12位を獲得し、予選での巻き返しを期することとなった。

予選ヒートは16周、決勝は26周と長丁場となり、タイヤへの負担も大きいことから、なるべくタイヤに負担をかけずに予選を終えたい。清水はスタートを無難に決めると、序盤から2番手よりラップ当り0.3秒ほど早いペースで周回を重ね、リードを広げていく。居附もスタート直後から順位を上げはじめ、5周目過ぎには4番手争いの集団へと加わっていく。

快走する清水は、2番手に約3秒のリードを築きトップチェッカーを受け、決勝のポールポジションを獲得する。居附は、最後は8位でチェッカーを受けたが、追い上げ中の接触によりフロントフェアリングが脱落したため、ペナルティにより17位となった。

Final Heat



気温も22度ほどまで上昇し、夏日に迫ろうかというなか迎えた26週の決勝ヒートでは、ローリングの隊列をうまく整えた清水が絶妙のダッシュを見せ、1コーナーをトップで通過すると、そのまま先頭で周回を重ねていく。レース序盤でタイヤが温まっておらず、周囲がなかなかペースを上げられない状況でも、清水はラップタイムを上げ早い段階でリードを広げ、スタート5周後にはそのリードは1秒を超える。

居附は序盤はスタートポジションを維持して周回を重ねていくが、徐々にペースを掴むと順位を上げ始める。スタートから10周をすぎる頃には、5ポジションほど挽回し、さらに上位進出を狙っていく。

快調にトップを走る清水は、10周目には2秒以上のリードを広げ、セーフティマージンを築くと、ややペースを落としながらも

後続に迫られることはなく周回を重ねていく。

レースが終盤に入っても、清水のリードはむしろ広がる一方で、折り返しとなる18周目には後続と約3秒差が広がり完全にレースをコントロールする。居附も12番手を周回しながら、一台一台捉えシングルフィニッシュを目指し力走を続ける。

完全に独走状態となった清水は、最終的には2番手に4秒近い大差を築き、一度もトップを譲ることなくチェッカーフラッグを受け、Formula Blueの船出を、タイムトライアルからトップを守り続ける完全優勝で飾った。居附は、終盤にさらに順位を上げると、最後は10位でチェッカーを受け、シリーズポイント圏内でレースを終えた。

なお、ヤマハのドライバーが優勝したのは、ワークスチームが参戦していた2011年のシリーズ最終戦SKFクラス以来、7年ぶりのこととなる。



6 Formula Blue Team Nagao



清水英志郎 (チームナガオ / 兵庫県出身 / 15歳)
 タイムトライアル1位、予選1位、決勝1位と獲得でき理想の形になったのでベストだったかなと思います。
 土曜日は、「英志郎はだめだな」と思われるくらい遅かったのですが、チームがセッティングを詰めてくれたので、今日の結果につながりました。決勝では序盤が自分は速かったので、タイヤが温まるまでに後続を引き離すことができました。26周は長く体力的にも厳しいですが、後ろが離れて余裕ができてからは、ただ攻めるだけでなく、いろいろな走らせ方にチャレンジしていました。優勝という最高のスタートが切れ、いろいろな人に印象づけられる開幕戦にできたと思います。次回以降も優勝し、いい印象をもっていたらいいと思います。

チーム代表：長尾 貢【ナガオカート】



今日は、出来過ぎなくらいまくいったレースで、もう言うことはないですね。前日までは最悪の状態、シャシーのセッティングが全く決まらなかったのですが、今日に向けセッティングを変更したのが成功したのだと思います。
 今回、こうした体制で参戦することは、いろいろな人に刺激を与えることになると思います。これを目指してジュニアの選手達が頑張れば、カートも盛んになるでしょう。今後のレースも勝てるように、気を引き締めて取り組みたいと思います。

25 Formula Blue Ash



居附明利 (Ash/ 愛知県出身 / 15歳)
 タイムトライアルでタイムが伸びなくて、下位に沈んでしまったことが痛かったです。予選では気持ちを切り替えて順位を上げていこうと臨み、4台抜いて8位まで上がったのですが、フロントフェアリングが落ちてしまいペナルティを受けてしまいました。決勝はどんどん攻めていこうと思っていましたが、まだタイヤの使い方が難しく、後半はグリップを失ってしまいました。そこは自分の改善点だと思います。
 中山も体力的に厳しいコースですが、しっかりとトレーニングして体力をつけて挑みたいと思います。

チーム代表：築山 敬【かあと小僧】



受験もあって練習不足だった面もありましたが、練習ではすごく調子が良かったです。しかし、タイムアタックが思うようにいきませんでした。初めてのエンジンでキャブレターを合わせきれなかったのが原因ですが、マテリアルをしっかりと本人が理解していない、また教えていなかった我々の落ち度でもあるので、これらの教訓を踏まえて中山大会ではいい位置からスタートできるようにしたいと思います。

全日本カート選手権西地域第1戦 RESULTS

Pos.	No.	Driver	Team	T.T.	Q.H.
1	⑥	清水英志郎	Formula Blue Team Nagao	41.046 ①	1
2	③⑩	嶋田 隼人	K-TECH/wびいたあばん	41.263 ②	3
3	②⑧	伊東 黎明	Energy Japan	41.335 ④	2
4	①⑨	渡部 樹	TAKAGI PLANNING	41.410 ⑦	7
10	②⑤	居附 明利	Formula Blue Ash	41.522 ⑫	17

全日本カート選手権西地域ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	Points
1	清水英志郎	Formula Blue Team Nagao	35
2	嶋田 隼人	K-TECH/wびいたあばん	30
3	伊東 黎明	Energy Japan	29
4	日吉 太一	FIORE Motor Sports	23
10	居附 明利	Formula Blue Ash	11

EVENT CALENDAR

	East	Rd.1 22/Apr. MOTEGI	Rd.2 3/Jun. HONJO	Rd.3 1/Jul MOBARA	Rd.4 5/Aug. MOGAMIGAWA	Rd.5 9/Sep. SUGO	FINAL 18/Nov. SUZUKA
West	1/Apr. BIWAKO	20/May NAKAYAMA	17/Jun. APG	15/Jul. MIZUNAMI	26/Aug. KOHBE		